

授業名：【選択科目】カウンセリング論（正課）

担当教員：厚澤祐太郎

時間数：全14回・23時間

開講日：9月26日

曜日・時間：金曜4限（15:30～17:10）

授業形態：対面

科目概要：

カウンセリングの基礎を身につけ、日常にも活かせる聴き方など、さまざまな技法を習得する。さらに、実際にカウンセリングの練習をして、初歩的なカウンセリング方法について学ぶ。

到達目標：

- ・他人の話を深く傾聴できるようになる。
- ・ロールプレイによって、相手の気持ちを解釈できるようになる。
- ・自分のストレスを適切に表現できるようになり、カウンセリングへの洞察ができるようになる。
- ・他人の悩みに対してアドバイスができるようになる。

合格目標：

- ・他人の話をおおまかに傾聴できるようになる。
- ・ロールプレイによって、相手の気持ちをおおまかに解釈できるようになる。
- ・自分のストレスをおおまかに表現できるようになり、カウンセリングへの洞察がおおまかにできるようになる。
- ・他人の悩みに対して初歩的なアドバイスができるようになる。

授業概要

回	日	授業内容	授業形態
1	9/26	カウンセリングの概要 【主題】：カウンセリングの定義と目的を理解する。 【学修目標】：カウンセリングの基本概念とその重要性を説明できる。 【学修活動】：講義とグループディスカッション。 この科目の到達目標、カリキュラム・マップに記載のディプロマ・ポリシーとの対応関係、履修系統図を用いた当該科目の教育課程上の位置づけとその後の履修の流れを説明します。	対面
2	10/3	カウンセリングの歴史 【主題】：カウンセリングの発展と背景を学ぶ。 【学修目標】：カウンセリングの歴史的発展を理解し、その背景を説明できる。 【学修活動】：講義と年表作成。	対面
3	10/10	主要なカウンセリング理論—心理力動的アプローチ 【主題】：フロイトに基づく心理力動的アプローチを学ぶ。 【学修目標】：心理力動的アプローチの特徴と基本的な技法を説明できる。 【学修活動】：講義と簡単な事例分析。	対面
4	10/24	主要なカウンセリング理論—認知行動療法（CBT） 【主題】：認知行動療法の基本的な理論と技法を学ぶ。 【学修目標】：認知行動療法の基本概念と技法を説明できる。 【学修活動】：講義とロールプレイ。	対面
5	10/31	主要なカウンセリング理論—来談者中心療法 【主題】：ロジャーズの来談者中心療法を学ぶ。 【学修目標】：来談者中心療法の特徴とその応用方法を理解する。 【学修活動】：講義と実践的な演習。	対面
6	11/7	カウンセリングにおける倫理的課題 【主題】：カウンセリングにおける倫理とその重要性を考察する。 【学修目標】：倫理的課題を説明し、それに対応する方法を考えられる。 【学修活動】：ケーススタディとディスカッション。	対面

7	11/14	文化的多様性とカウンセリング 【主題】：文化的背景がカウンセリングに与える影響を理解する。 【学修目標】：文化的多様性を考慮したカウンセリングの必要性を説明できる。 【学修活動】：講義と事例分析。	対面
8	11/21	カウンセリングの基本スキル—傾聴 【主題】：傾聴スキルの重要性を学び、練習する。 【学修目標】：傾聴の具体的な技法を実践的に学ぶ。 【学修活動】：講義とペアワーク。	対面
9	11/28	カウンセリングの基本スキル—質問技法 【主題】：質問技法の種類と適切な使い方を学ぶ。 【学修目標】：効果的な質問技法を理解し、適用できる。 【学修活動】：講義とロールプレイ。	対面
10	12/5	カウンセリングにおける非言語的コミュニケーション 【主題】：非言語的要素がカウンセリングに与える影響を学ぶ。 【学修目標】：非言語的コミュニケーションの重要性を説明できる。 【学修活動】：講義と観察ワーク。	対面
11	12/12	事例研究—ケーススタディ 【主題】：実際の事例を通じて理論の応用力を養う。 【学修目標】：理論をもとに事例の分析と解決策を提示できる。 【学修活動】：ケーススタディとグループ発表。	対面
12	12/19	カウンセリングの効果測定と評価 【主題】：カウンセリングの成果を評価する方法を学ぶ。 【学修目標】：効果測定の手法を理解し、基本的な評価ができる。 【学修活動】：講義と模擬評価演習。	対面
13	1/9	カウンセリングと自己理解 【主題】：カウンセリングにおける自己理解と反省 【学修目標】：カウンセラーとしての自己理解を深め、自己反省を行う方法を学ぶ。 【学修活動】：自己理解を深めるための方法について学び、実際のカウンセリングにどのように活用できるかを考える。	対面
14	1/16	カウンセリングの総括と実践的な応用 【主題】：カウンセリングの総括と今後の実践に向けた準備 【学修目標】：これまで学んできた内容を総括し、実際の場面でどのように応用するかを考える。 【学修活動】：カウンセリングの総括を行い、実際に取り組んだ課題についての振り返りを行う。	対面

<評価の基準>

S	A	B	C	D	X
100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59点以下	—
到達目標を超えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標と合格目標の間にあるレベルを達成している	合格目標を達成している	合格目標を達成できていない	受験資格無、レポート・課題未提出等

<成績評価について>

- ・ 期末試験（基本理論や応用問題を含む筆記試験）【50%】
- ・ 授業参加（毎回のリアクションペーパー、授業中のディスカッションやグループワークへの積極的な参加）【50%】